

令和4年度 認知症フォーラム認知症とともに2022 要項
～認知症の人の思いを聴くことから始めよう～

1 目 的

認知症の人とともに地域づくりに取り組む認知症サポーターの活動の紹介や認知症当事者の思いを聴くことで、改めて認知症について考えるとともに、認知症サポーターの活動を促進する機会とする。

なお、本フォーラムは、今年度の京都市におけるアルツハイマー月間の取組のひとつとして開催する。

2 日 時

令和4年9月21日（水）13：30～16：00

（同時ライブ配信）

※開催後、申込者に限定して、当日の動画を配信する。

<動画配信期間> 10月3日（月）～ 10月15日（土）

3 開催方法

ZOOM によるライブ配信

4 会 場

QUESTION 4階 コミュニティステップス（オンライン配信起点）

京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 390-2

（会場定員数がコロナ感染拡大防止から最大50名となっている。）

5 対 象

①市内在住及び在勤・通学の認知症サポーター及びキャラバン・メイト

②認知症サポーターとしての活動に関心のある市内在住及び在勤・通学の方

③市内介護保険事業所の職員 等

6 定 員

先着順200名（オンライン参加のみ）

7 主 催

京都市長寿すこやかセンター

8 共 催

京都市、京都信用金庫

9 協 力

さんげつ会、チーム上京！、カフェほうおう 等

QUESTION（京都信用金庫運営事業部イベント部門担当）

京都府認知症にやさしい異業種連携協議会

10 周 知

①チラシを各区社会福祉協議会へ配布する。

②介護保険事業所に L-NET でファクス送信する。

③長寿すこやかセンターホームページ等に掲載する。

④各新聞社（京都新聞・毎日新聞・朝日新聞・産経新聞等）へ記事掲載依頼

11 内 容

13 : 30～	5 分	開会 趣旨説明（認知症サポーター活動促進コーディネーター村島）
13 : 35～	80 分	認知症の人の思いを聴くことから始めよう 【第 1 部】「認知症の人とともに活動する認知症サポーターの取組紹介」 認知症と診断され、諦めていたやりたいことを、認知症サポーターを含む様々な人とともにチャレンジした事例を共有する。 （司会）岩倉地域包括支援センター 松本 氏、京都信用金庫 安藤 氏 （発表時間）各取組動画 5 分＋コメント（10 分） （発表内容）各取組を事前に作成した動画で紹介 ・地域の居場所づくり（チーム上京！） ・当事者の思いから始まった取組（さんげつ会） ・地域とのつながりづくり（光華女子大学まちやキャンパスでの活動） ・認知症カフェでの取組（おれんじサロン ひと・まち） （参考）常設カフェでの取組（カフェほうおう）
14 : 55	5 分	休憩
15 : 00～	50 分	【第 2 部】「認知症の人とできることを一緒に考えてみませんか？」 【第 1 部】の取組発表から、認知症サポーターとしてできることを認知症の人とともに考える （司会）岩倉地域包括支援センター 松本 氏（キャラバン・メイト） 京都信用金庫 安藤 氏（企業サポーター） （コメンテーター） ・認知症当事者（下坂 氏）…当事者の思い、サポーターに求めること ・医師（京都府立医科大学 成本 氏） … 当事者の思いへのアプローチについて（医師の立場から） ・京都市認知症疾患医療センター（井上 氏） … 当事者の思いへのアプローチについて（相談機関の立場から） ・認知症サポーター（石崎 氏、元廣 氏、） … 当事者との出会い、関わるなかで感じること、サポーターとしてできること ・企業サポーター（〇〇氏） … 企業のサポーターとしてできること ・認知症サポーター活動促進コーディネーター … コーディネーターの役割 ※各取組等についての御意見等はチャットで受け付ける。
15 : 50～ 16 : 00	10 分	閉会 まとめ（下坂 氏、村島）

12 申 込

①申込受付期間 令和 4 年 8 月 2 2 日（月）～ 9 月 1 0 日（土）

②受付方法

- ・ Google フォームにて、長寿すこやかセンターにて申込を受付ける。
- ・ 申込記載内容は、氏名・電話番号（携帯電話含む）・メールアドレス・居住または勤務する行政区・専門職（所属事業所・職種）・企業（企業名）等

③受付後事務処理

- ・ 申込者メールアドレスにオンライン視聴及び開催後動画視聴のための URL を送信する。
- ・ アンケートフォームを添付し、回答を依頼する。